

市報 **やまぐち**

昭和57年

4月15日

No. 834

交通事故状況

種別	区分	3月	累計	
			本年	昨年
発生件数		57	122	143
死亡者		0	1	2
重傷者		8	17	18
軽傷者		60	137	148

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 森重印刷所



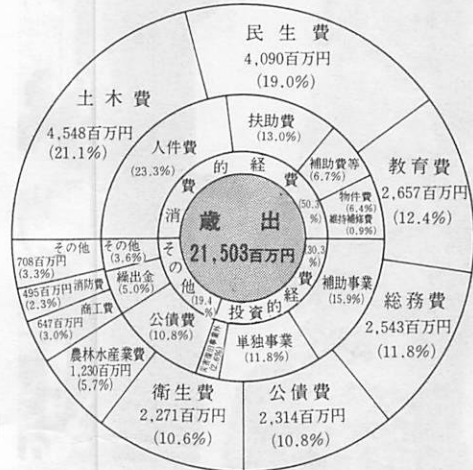
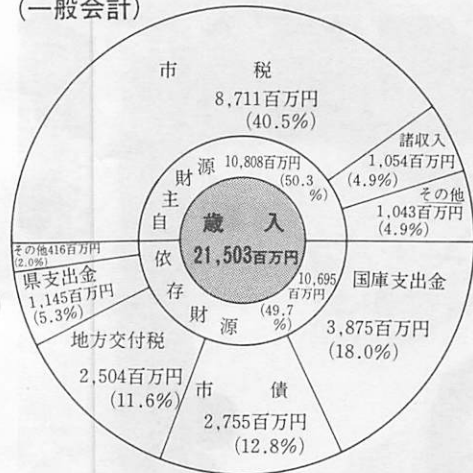
舞楽の奉納
厳かに、拝殿落成式
古熊神社境内で

れました。
続いて記念式が行われ、その
中で約四十年振りに、獅子舞が
披露され出席者の関心を集めて
いました。
五十五年三月から進められて
いた解体修理も終り、美しくそ
り返った銅板ぶきの屋根を持つ
室町時代の建築様式の拝殿が復
元されました。

時折強い風が吹き、雨も冷た
く感じる四月三日、古熊神社拝
殿（国指定重要文化財）の落成
式が、同神社の境内で行われま
した。
関係者ら約二百五十人が出席
した式典は、古式豊かな奏楽の
音の流れる中で献花、献茶など
が厳かに行われ、厳島神社（宮
島）の舞楽（蘭陵王）も奉納さ

い予算編成 したまちづくり 事業を重点に

(一般会計)



一般会計予算のうち歳入では、市税が八十七億一千九十余万円

市税の構成比上がる

（構成比四〇・五％）で、歳入予算のうち一番大きなウエイトを占め、前年比一三・四％の伸びを見込みました。

歳出では、土木費が四十五億

公債費は23億余万円に

（構成比四〇・五％）で、歳入予算のうち一番大きなウエイトを占め、前年比一三・四％の伸びを見込みました。

57年度予算のあらまし

「都市機能の充実整備」など、五つの重点施策で編成した昭和五十七年度予算がスタートしました。

一般会計は、総額二百十五億三百万円（前年当初予算比五・九％増）、国民健康保険や下水道事業、土地取得事業などの特別会計が八十一億八千四百二十万円（同一・二％）、企業会計のうち自動車運送事業会計（収益的収入）が約八億八千万円、水道事業会計（同）が川西水道も含めて、約十二億三千万円となっています。

市の成果をみているものの、いまだに、財政は硬直化した状態にあります。昭和五十七年度も引続き、財政硬直化の解決の方途を講じ、長期的見通しに立った行財政の健全化に努めます。そこで五十七年度は、基本的行政の指針であります「山口市基本計画」に従い、市民福祉の向上、生活関連施設整備等、必要不可欠な事業を重点的、かつ効果的に配分選択し、自然と歴史を基調とした、明るい希望もてる予算を編成しました。以下、新年度予算の内容について、そのあらましを紹介いたします。

設増による固定資産税、給与所得増による市民税の増加をそれぞれ見込んだものです。

このほか、歳入の大きいものは、国庫支出金三十八億七千五百余万円（同一・一八％）、市債二十七億五千四百余万円（同一・一八％）、また、地方交付税は、国の交付税特別会計に照らし、多くを期待することは困難で、二十五億四千万円（同一・一・六％）を見込みました。

これ等の構成比を前年と比べると、県支出金が一・九％、国庫支出金が一・一％、市債が〇・五％、分担金及び負担金が〇・三％下がったのに対し、市税は二・六％上がり、前年より十億二千六百余万円の増額になっています。なお、市税、使用料などの自主財源の構成比は五〇・三％で、昨年より三・三％上がっています。

昭和57年度一般会計予算

〈歳入〉			〈歳出〉		
項目	予算額	前年比	項目	予算額	前年比
市税	8,710,960	113.4	議費	187,848	99.7
地方譲与税	194,000	114.1	費費	2,543,375	123.0
娯楽施設利用税交付金	23,000	100.0	費費	4,089,842	105.0
自動車取得税交付金	170,000	100.0	費費	2,271,148	119.8
国有提供施設等所在税	15,100	108.6	費費	106,424	185.8
市町村助成交付金			費費	1,229,891	71.5
地方交付税	2,504,000	107.4	林水産業費	647,213	104.6
交通安全対策特別交付金	14,000	70.0	費費	4,548,328	101.1
分担金及び負担金	263,761	84.5	費費	495,085	106.1
使用料及び手数料	250,518	88.7	費費	2,657,410	103.7
国庫支出金	3,875,316	100.1	費費	320,984	99.7
県支出金	1,144,798	79.0	費費	2,313,868	120.3
財産収入	121,906	74.0	費費	41,583	107.9
附入越収	4,533	100.0	費費	50,000	100.0
金庫	402,346	222.8			
入金	1	100.0			
入金	1,053,961	114.4			
入金	2,754,800	101.9			
入金	21,503,000	105.9			
合計			合計	21,503,000	105.9

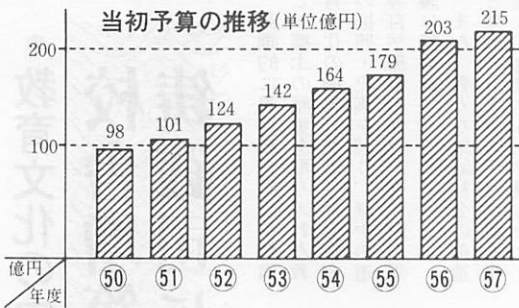
四十八百八千九百円（構成比二二・一％）、民生費が四十億八千九百九十九万円（同一・一九％）、教育費が二十六億五千七百九十九万円（同一・二・四％）、総務費が二十五億四千三百九十九万円（同一・一・八％）などが主なものですが、また、公債費は二十三億一千三百九十九万円、構成比は一〇・八％を占め、前年より一・三％ふえています。

歳出を性質別にみると、人件費など消費的経費が五〇・三％、建設事業などの投資的経費が三〇・三％、公債費などのその他が一九・四％です。

特別会計は81億円

特別会計のうち、国民健康保険は、受診率の上昇、療養給付費の増加などを見込み、四十六億一千七百九十九万円（前年比一・五％増）を計上したほか、下水道事業に二十七億三千九百九十九万円（同一・九・六％減）を計上し、特別会計全体で八十一億八千九百九十九万円になりました。

(3)



基本計画にそ 自然と歴史が調和 必要不可欠な

都市機能の充実整備

南部地域センター 企業誘致、街路、区画街路

山口県の県都として、中枢管理機能の集積と就業の場の確保に努め、第二次産業の進展を図ります。

このため、企業誘致の推進や工業、商工団地の建設用地の確保など、建設に向けて努力するほか、広域的な総合交通体系の確立を図るため国・県道の整備促進を関係機関に強く働きかけると共に、主要市道を計画的に整備し、自然との調和を図りながら、活力ある都市づくりに努めます。



49年度から街路事業を進めている、東山通り下矢原線。57年度は、約 8,700万円余りを投入して、三和町地内の街路180mの整備舗装と旭通り地内の用地買収を進めます

地域開発事業の推進

工業、商工団地を選定し、確保するための調査、測量を行い、企業誘致を積極的に推進する、企業誘致推進費三千八百余万円を計上したほか、県流通センターの関連事業として、地域開発事業費一億三千三百余万円を計上しました。

泉町平川線の測量

都市計画事業では、引き続き東山通り下矢原線、糸米羽坂線、黄金町野田線の事業を進めるほか、国道九号線から交通局のそばを通り国道九号バイパスに通じる泉町平川線の測量、調査を新たに行います。

生活環境の整備

公園、ごみ、し尿、生活道路、公共下水道の整備

生活道路の改良整備、交通安全施設、都市公園と緑化対策の計画的な推進をはじめ、公共下水道の推進ならびに水洗便所の普及指導に努め、都市下水路の整備、廃棄物処理等住環境の施設整備に努めます。

また、県中部環境施設組合負担金として、火葬場、ごみ焼却場、し尿処理場の維持管理費等七億一千二百余万円を計上しています。

都市下水路事業では、朝倉、平川、矢原、問田の各水路を整備するほか、引き続き家庭雑排水の浄化対策として、下排水路整備費七千七百余万円を計上しました。

生活道路の整備

ごみ・し尿の清掃事業では、市土地開発公社が先取得している不燃物処分場の買戻しを含め、不燃物処理場整備、じん芥収集車等整備事業費二億一千余万円を計上しています。

都市下水路の整備

公園整備では、昨年に引き続き亀山公園、御堀第二公園の整備を進めるほか、東山公園の整備を進めます。

生活環境の整備

(単位: 百万円)	
○生活道路の整備	1,550
○交通安全施設整備	95
○公共下水道、都市下水路等の整備	2,944
○廃棄物処理等住環境施設整備	922
○住宅建設等整備	250
○都市公園整備と緑化事業	204

都市機能の充実整備

(単位: 百万円)

○企業誘致の推進	38
○地域開発事業	133
○定住圏市町村道路総合モデル事業	200
○地域経済振興対策事業	200
○都市計画事業の推進	544
街路事業(東山通り下矢原線、糸米羽坂線、黄金町野田線、泉町平川線)	
区画街路事業調査費(道場門前)	
○南部地域センター建設事業調査費	2

● 教育文化の向上

校舎増築(大歳小、宮野小、鴻南中) 鑄銭司に郷土資料館建設

計画的に義務教育施設を整備し、郷土の歴史を取り入れた教育文化の振興に努め、社会教育の振興・充実を図り、歴史の道等自然環境の保存、文化財の保護に努めます。

また、豊かな地域社会の創造と地域のコミュニティ活動を推進し、地域ぐるみで親しむコミュニティスポーツの振興に努めます。

義務教育施設の整備

大歳小学校に鉄筋コンクリート造三階建(二教室、音楽室、図工室、理科室、保健室)、宮野小学校に同三階建一部スレート造(音楽室、図工室、理科室、視聴室、職員室)、良城小学校

◇教育文化及び体育の振興◇

(単位 百万円)

○義務教育施設整備と教育行政	515
○社会教育行政と文化財保護	289
○体育の振興	48
○自治集会所建設補助金	26



学生増に備え、工作室を解体して校舎の増築を計画中の鴻南中学校

社会教育施設の整備

鑄銭司に一億七千余万円、郷土資料館を建設します。また、歴史の道の整備など、文化財保存整備事業費として一億八千余万円計上しました。

鑄銭司に河川プール

体育関係では、大内長野の市民運動広場のソフトボール広場二面に、夜間照明施設を整備するほか、市民プール腰洗場の改修、便所の増設を進めます。また、鑄銭司の和西川に河川プールを建設します。

集会所建設に補助金

地域社会におけるコミュニティ活動の推進事業として、五十五年度から進めている自治集会所の建設補助金として、二千六百万円を計上しました。

● 社会福祉の充実

障害児の早期発見、早期療育 福祉優待乗車証、70歳に

早期療育の推進等による、障害者の住みよいまちづくりを推進する一方、保育園等福祉施設の充実、高齢化社会に対応したふれあいの場を確保するほか、ボランティアの養成、福祉の心を育てる啓発活動の推進を図ります。

障害者・老人対策

障害者対策として、県との総合システム化の中で障害児の早期発見、早期療育に努めるほか、心身障害児簡易通園事業として湯田のふたば園を借上げ、白さぎ学級を常時開設します。また、老人対策では、五十五

施します。

人事異動

市では四月一日付(退職者は三月三十一日付)で人事異動を行いました。このたびの異動は、人事の刷新と勤労意欲の向上、組織の活性化を図るため長期在課職員の新異動を行ったほか、女子職員の登用、昇任に伴うものおよび定期異動です。四等級(係長級)以上の異動は次のとおりです。

二等級

- ▽総務部庶務課主幹(兼)文書係長藤津英一▽課税課主幹(兼)固定資産税第一係長本廣隆久▽市民生活部清掃事務所主幹広嶋恒雄▽同主幹山根恒夫▽建設部調整管理担当主査(兼)幹線道路対策事務局次長掛波勝吉▽建設部土木課主幹山本武彦▽厚生部保護課主幹(兼)庶務係長前田善男▽中部環境施設組合主幹藤井洋二▽監査事務局次長熊野勝利▽教育委員会学校教育課主幹(兼)学校教育課指導係長上利和男▽指導室長(同課主幹)井上健

三・四等級

- ▽企画部秘書室主任榎本ハナ▽広報課主任徳本富子▽総務部職員課研修係長西村寿財▽管理課管理係長田代清人▽課税課管理係長村田敏夫▽同市民税係長井上斌▽同主任福田

- 祥介▽同主任藤井保夫▽同主任田村弘▽納税課主任上田学▽同納税第一係長村上武紀▽同主任山根純子▽市民生活部公害交通課交通安全対策係長徳田正▽同主任安永寛▽衛生課衛生第一係長茅野章美▽市民課調査係長岡田末男▽清掃事務所管理係長田村明彦▽同清掃第一係長杉本正▽経済部農林水産課畜産係長(兼)と畜場長宇野和利▽商工観光課消費生活係長増野厚▽農林水産課主任横沼隆司▽耕地課主任岡野米子▽建設部土木課管理係長福永哲夫▽同主任村上仁志▽都市計画課管理係長原田俊明▽同主任藤山輝明▽建築課建築主事栗林稔▽厚生部保護課主任吉岡哲哉▽同主任徳永紘治▽福祉課主任松本利夫▽同主任中屋直彦▽保険年金課主任井上佐和之▽三の宮保育園長石川春子▽楠木保育園長柳井豊子▽同主任保母小倉正子▽山口保育園主任保母白木芳子▽東山保育園主任保母徳田恵子▽大内保育園主任保母浦山和代▽陶保育園主任保母小林繁子▽三の宮保育園主任保母野村啓子▽山口第二



大内保育園を改築

休日夜間急病診療対策や休祭日在宅当番医制の補助など、地域救急医療対策に八千四百余万円を計上しました。
このほか、大内保育園改築事業費として、一億六千八百余万円を計上しました。

老朽化した大内保育園。園児は来年度から、新しい園舎に通園できます

社会福祉の充実

(単位 百万円)

○ 障害者福祉都市推進事業	12
○ 市民優待乗車証交付事業	45
○ 老人研修補助金	2
○ 地域広場設置事業	10
○ 地域児童健全育成事業	2
○ 大内保育園改築事業	168
○ 福祉施設建設事業補助金	11
○ 市民憩いの場整備事業	20
○ 地域救急医療対策	84
○ 山口・防府地区隔離病舎一部事務組合負担金	33

産業の振興 水田の転作、農業の近代化 市街地の開発整備

水田転作の定着化を推進し、農業の近代化と安定を図るため、地域農業総合振興事業、新農業改善事業などを進めます。

また、林業、水産業では、森林病害虫防除、林道整備、漁港整備などの事業を実施し、その振興を図ります。

商工振興、観光対策では、市街地の開発整備を進め、商工業

の育成を図るとともに、自然と歴史と温泉を基調とした観光づくりに努めます。

ほ場整備を継続

近代的な農業経営を目指して、五十五年度から進めている。名田島、仁保のほ場整備を引続いて実施するほか、転作促進対策として、集団営農用機械施設

整備の推進に努めます。土地改良事業では、刈間水路や大浴、初瀬などのため池の改良を進めます。

また、林業では、松くい虫の防除を積極的に推進するほか、山村振興林道開設事業として、三千二百余万円を稗畑(仁保)林道を整備します。

産業の振興

(単位 百万円)

○ 農業振興	629
○ 林業振興	90
○ 水産業振興	88
○ 商工・観光と労働	544

予算総額 317億6,670万2千円 (単位 千円：%)

会計名	予算額	伸び率
一般会計	21,503,000	105.9
特別会計	8,180,420	101.2
自動車運送会計(収益的収入)	881,532	106.3
水道会計(収益的収入)	1,201,750 (含川西水道)	108.4

荒谷、木戸山に遊歩道

中小企業の季節融資預託金を前年度より五千万円増額し、五億円としたほか、市労働会館を併設する県労働者福祉文化中央会館建設補助に三千万円計上しました。また、宮野荒谷、木戸山に遊歩道の整備も進めます。

退任者

ル子▽山下鎮雄▽向井寿美恵
▽藤村明弘▽村田崇▽島津尚夫

消防本部

三・四等級

退職者

▽中村修▽河村敬一▽永未宣人▽田中孝▽大田秀穂▽松永忠淳▽三卷文吉▽磯部賢治▽小柳千恵子▽布谷宏▽平田ハ
▽消防課消防係長清水孝一▽消防署南出張所長坪郷典男▽総務課消防団係長則近美▽予防課危険物係長岡本明▽同調査係長田中喜代▽消防署小隊長伊坂悌二▽同小隊長末広昭忠▽同副小隊長柿並信義▽同副小隊長村光美▽同分隊長徳田定夫▽同救急隊長伊藤満昭▽同救急隊長徳本優▽同副分隊長金子健二▽同副分隊長高野慶二▽消防課主任吉永昌夫

「私たちのまち山口」

たくましい山口っ子

市では、毎週日曜日午前十一時五十分から五十分間、TBSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。
四月二十五日と五月二日は、五十五年度から学校教育の中に積極的に導入している「ゆとりの教育」を中心に、創造性ゆたかな人間形成と、たくましい児童の育成を目指した、小学校教育の取組みを、細田久雄学校教育課長と米澤文恵教育委員との対談でご紹介します。



ふるさとの緑を守ろうと、50年から薬剤散布による、松くい虫の防除にとり組んでいます

昭和55年度決算要領

一般会計
歳出決算

178億3,046万8千円

地方自治法の定めにより、昭和五十五年の決算要領を、次のとおり公表します。

昭和五十七年四月十五日
山口市長 堀泰夫

一般会計歳入歳出決算

科 目		決 算 額	科 目		決 算 額
入	市 方 譲 与 税	6,995,490	出	議 会 費	170,345
	地 方 設 立 税	193,922		総 務 費	2,325,946
	娛 楽 施 設 利 用 税	21,423		民 生 費	3,509,645
	自 動 車 取 得 税	166,641		衛 生 費	1,645,995
	国 有 提 供 施 設 等 所 在 地 交 付 金	13,103		農 業 費	52,840
	市 町 村 助 成 交 付 金	2,240,156		林 業 費	1,472,310
	地 方 交 付 税	16,310		水 産 業 費	520,465
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	284,917		商 工 業 費	2,911,150
	分 担 金 及 び 負 担 金	199,883		土 木 防 育 費	454,638
	使 用 料 及 び 手 数 料	2,873,987		消 費 税 費	2,890,236
	国 庫 支 出 金	1,212,525		災 害 復 旧 費	259,953
	県 支 出 金	129,619		公 諸 支 出 金	1,571,580
	財 産 付 入 金	10,899		合 計	17,830,468
	繰 上 越 取 入 金	40,670			
	繰 上 越 取 入 債 権	86,705			
市 債 借 入 債	808,314				
合 計	2,578,215				
	17,872,779				

(歳入・歳出とも54年度繰越額を含む)

4千2百余万円の黒字

一般会計

昭和五十五年の一般会計当初予算は、百七十九億四千八百万円でしたが、その後六回の修正により最終予算は百九十三億五千三百四十八万三千円となり

昭和五十五年の一般会計当初予算は、百七十九億四千八百万円でしたが、その後六回の修正により最終予算は百九十三億五千三百四十八万三千円となり

これに対し決算額は左表のとおりで、歳入・歳出差引き四千二百三十一万一千円の黒字となりました。

市債現在高

(単位 千円)

区 分	54年度末	55年度末
普通債	9,723,405	11,756,552
災害復旧債	423,963	438,328
その他	1,576,438	1,399,511
計	11,723,806	13,594,391

びたのをはじめ、ほ場整備等による分担金及び負担金が二・一％、選挙費、国勢調査等による県支出金が二・三・六％のほか、市預金利子等の諸収入が一七・八％増加したことが主なものです。

歳出 歳出決算額は、前年度と比べ九・二％の伸びでした。これを性質別に分けると、人件費が四十六億五千九百五十万五千円(同三〇・六％)、建設事業費が五十四億四千九百四十五万五千円(同三〇・六％)、扶助費が二十三億五千五百七十七万五千円(同二・二％)が主なものです。

主な事業を重点施策の五つの柱ごとにひろってみると次のようなものがあります。

- 都市機能及び生活基盤の整備 東山通り下矢原線、糸米羽坂線、黄金町野田線の街路事業、清掃庁舎建設、宮野北恋路住宅および集会所の建設
- 教育文化の向上 大内小、良城小、白石小、二島小学校屋内運動場改築(特殊学級)校舎の新増築、佐山

市有財産現在高

項 目	数 量	単 位
土 地	1,374,593	m ²
建 物	217,181	m ²
山 林	6,501	ha
立 木	523,973	m ³
物 品	227	台
有 価 証 券	5,425	千円
出 資 による 利 権	70,020	千円
債 権	1,815,401	千円
現 金	1,349,018	千円
基 金 土 地	14,590	m ²

特 別 会 計

特別会計歳入歳出決算概要

(単位 千円)

会 計 別	決 算 額		歳 入 歳 出 差 引 残 額
	歳 入	歳 出	
国民健康保険	3,574,279	3,416,573	157,706
同和対策資金貸付事業	298,110	298,084	26
と 畜 場	16,460	16,460	0
下 水 道 事 業	3,267,350	3,267,350	0
土 地 取 得 事 業	94,325	94,325	0
駐 車 場 事 業	121,962	121,962	0
特 別 林 野	34,223	30,641	3,582
計	7,406,709	7,245,395	161,314

公民館・出張所の建設

心身障害児早期療育など障害者福祉都市推進事業、福祉優待乗車証の交付事業

○産業の振興 新農業構造改善事業、山村振興地域農林漁業特別対策事業、松くい虫防除事業

○保健体育の振興 二十五層の市民プール建設 大殿・湯田両地区に夜間照明施設を整備

特別会計の歳入歳出決算は次のとおりで、歳入総額は七十四億六百余万円に、歳出総額は七十二億四千五百余万円、

差引き一億六千余万円の黒字となりました。

国民健康保険は、歳入歳出差引き一億五千七百余万円を昭和五十六年度へ繰越し、下水道事業は、前年度に比べて二九・九％伸び、五十六年度一部供用開始に向けて事業を進めました。

成人病(胃ガン・循環器)検診

- ＜胃ガン＞
 - ・4月22日(木) 労働基準局
 - ・4月23日(金) 金古曾サビエル公園前
 - ・4月28日(木) 大殿中学校
- ＜胃ガン・循環器＞
 - ・4月26日(月)、27日(火) 宮野公民館
- 受付時間 いずれも午前8時30分から9時30分まで
- 料金 胃ガン 2,000円、循環器(血圧、血液、尿検査など) 640円、心電図(医師の指示した人か希望者) 1,200円
- 注意事項 胃検診者は、当日の朝食、水、薬、たばこなど一切口にしないこと
- 申し込み 市衛生課(☎22-4111)へ

- 市歴史民俗資料館開館1周年記念「雲谷派の人々」特別展
- 時間 4月15日～5月16日(期間中無休)
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 会場 市歴史民俗資料館(春日町)
- 内容 県下に存在する雪舟の画系を受け継いだ雲谷派画家の主要な作品(掛軸や屏風など)約30点を展示する。
- 観覧料 大人 100円、小・中生50円(20人以上の団体の場合、各20円割引)

秋吉台で親と子のわらび狩り

- 秋吉台少年自然の家では、新緑の秋吉台とその周辺で、親子でわらび狩り、野外炊事、歌やゲームなどを楽しむ会を開きます。
- 日時 5月2日(日)午前9時30分～午後3時(受付は午前9時～)〈雨天決行〉
- 会場 県秋吉台少年自然の家(美東町)
- 参加対象 小学3年生以上中学生までの子供とその保護者
- 募集人員 100人
- 会費 大人 730円、子供 670円
- 携行品 運動のできる服装、手袋、雨具
- 申し込み 4月26日までに、ハガキに氏名、性別、学校名、学年、電話番号、住所を記入し、県秋吉台少年自然の家(〒754-03 美祿郡美東町大字赤字長谷平 ☎08396-2-0581)へ
- 市美術展覧会の作品、ご用意を第25回(昭和57年度)市美術展覧会は、10月1日(金)～4日(月)に開催する予定です。
- 部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門
- 詳しくは、8月の市報に掲載します。
- 昭和57年度電気工事士試験
- 筆記試験実施日 6月20日(日)
- 技能試験実施日 8月8日(日)
- 受験願書受付 5月6日～20日
- 問い合わせ 県工業課(☎22-3111)へ

土地利用の変更など
市課税課にご連絡を

建物をとりこわしたり、未登記の建物を売買したり、または土地の利用状況が変わった場合(例えば、山林・雑種地を宅地に変更するなど)には、市課税課固定資産税係(☎22-2141-1)内線二四二または二四三(☎22-2141-1)へまでご連絡ください。



青空を勇壮に泳ぐ鯉のぼりも、思わぬ事故につながります。風や周囲の状況を考えてたてましょう

お知らせ

四月下旬から五月上旬にかけては、鯉のぼりの季節に当たります。

この季節に先がけ、中国電力山口営業所では、鯉のぼりによる感電事故防止策として次のような注意を呼びかけています。

■ 風になびく鯉のぼりが電線に触れないように、十分離してポールをたてましょう。思わぬ感電事故や停電事故を起

- 付近には、電線はありませぬか。もし支柱が倒れても、電線に触れないところにたてましょう。
- 万一、鯉のぼりが電線にひつかかたときは、電柱に登ったり、竿でついたりせず、すぐに中国電力山口営業所(中央二丁目☎22-4332-1)へご連絡ください。

鯉のぼりによる感電事故を防止しよう

不燃物の収集日

出張所地区

- 5月 4日嘉川、6日佐山・秋穂二島、7日鑄銭司・陶、8日名田島、11日大内、13日平川、17日小鯖、18日吉敷、21日仁保、25日宮野、28日大歳
- 燃えるゴミ、4月29日は収集します。4月29日(木)と5月3日(月)が祝日のため、4月29日は平常通り収集します。なお、5月3日(月)と5日(水)は収集しませんので、次の収集日となります。
- 婦人会館教養講座受講生募集
- 講座名 茶道(表、裏、石州流、煎茶)、華道(池坊、小原、草月、柴山茶)、流、料理、着付、造花、紙人形、木彫、書道、俳句、謡曲、英会話、民謡
- 申し込み 4月25日までに入会金(1,000円)を添えて県婦人会館(湯田温泉五丁目 ☎22-2792)へ
- 婦人卓球クラブ会員募集
- 練習日 毎週金曜日午前10時～12時
- 会場 県体育館(中園町)
- 会費 年間 2,000円
- 募集人員 30人
- 申し込み 市婦人スポーツクラブ連合会卓球部の世話人・熊野伸子さん(大殿大路 ☎25-2916)へ
- 県立図書館・文書館 資料点検のため閉館
- 4月17日(土)から26日(月)まで、春季資料点検のため県立山口図書館・文書館および視聴覚センター(音楽資料室・視聴覚資料室)は閉館となります。なお、山口図書館の開館時間は4月1日から次のように変更されました。
- 火～金曜日 午前9時～午後7時
- 土・日曜日 午前9時～午後5時

県護国神社大慰霊祭

市営バス 臨時便を運行

四月二十九日に催される春季護国神社大慰霊祭には、次のとおり「湯田温泉」市会館前、県庁前、日赤口、祭場」間に市営バス臨時便を運行します。参加者は、ご利用ください。

なお、雨天の場合は中止します。

■運行時間

▽湯田温泉発午前九時二十分～十一時十分

▽市会館前発

午前九時二十七分～十一時十七分

▽県庁前発午前九時三十分～十一時二十分

▽祭場発午前十時三十分～午後一時(この間、十五分～二十分おきに運行します。)

4月20日から「競技場前」に準急停車

四月二十日から「競技場前」停留所は、市営バス準急便の停留所となります。陸上競技場に行かれるときは、準急便もご利用ください。

国民年金

保険料を忘れずに

国民年金保険料の昭和五十六年度分(五十六年四月から五十七年三月まで)を納めておられない人は、四月三十日までに市の指定金融機関に納めてください。保険料を納めていないと、万一の事故や病気などの不幸な時にもらえる「障害、母子、遺児年金」や老後にもらえる「老齢年金」などがもらえない場合があります。

万一と老後に備えて、保険料は忘れずに納めましょう。

中小企業主のみなさんへ 設備機械の貸与制度があります



中小企業で新しく設備の設置を計画される場合、次のような機械貸与制度があります。

■対象企業 ①市内で製造業、碎石業、サービス業、卸・小売業(建設業を除く)を一年以上行っているもの ②従業員が二十人(サービス・卸・小売業は五人)以下のもの

③この二年間の平均純利益が一千万円以下のもの(特別の理由があるものは一千四百万円以下)

④昭和五十七年の設備近代化資金の貸付と重複しないもの

■対象となる機械 新品

■条件

- 限度額 一企業当り二十万以上二千円以下
- 返済 四年六ヵ月以内
- 貸与損料 年5%
- 保証金・保証人 貸与機械代金の10%・一～三人

詳しくは、市商工観光課(☎22-2141-1)へ